

吹上地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年8月19日（火）午後1時30分～2時00分

会 場： 栃木市役所

事例数： 1ケース

参加者数： 12名

事例提供者1名、サービス提供事業所2名、助言者6名、
包括職員2名、傍聴者1名

ストーマ設置によるストレスや不安があり、活動性が低下している 75 歳男性

〈目標〉1日:自宅内の段差や座布団につまずかないように気を付けて
転倒しないように生活する。

1年:今の体の状態を維持する。

利用サービス:介護予防訪問看護、通所型サービス

《生活全般の解決すべき課題》

- ・ストーマトラブルなく生活したい。
- ・筋力・体力を付け以前のように交流の場に参加する。

《助言者からの助言内容》

- ・ストーマによるストレスや不安については、サポートを受け気になっていることを解消する。
- ・徐々に活動性が増えているので、デイサービス利用などはこのまま続けることが望ましい。
- ・義歯を作ることを勧める。
- ・口腔ケアとして食前食後にブクブクうがいをする。
- ・立ち座りを鍛える運動（スクワット 10 回程度）を行う。
- ・不通過予防とガスの発生にはよく噛み、水分を十分に摂取する。



・ **ストーマ設置によるストレスや不安をなくし、活動性を高める。**

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

ストーマを造設している方向士が交流できる場や利用できる社会資源について、情報を得る手段が少ない。